

	学力検査等の 内容	合否判定の方 法及び基準	試験問題に関する情報			備考
			出題意図	試験問題	解答又は 解答例	
サマースクール選抜	○	○	○	-	-	筆記試験なし
総合型選抜A日程 普通科系・専門系・その他	○	○	○	○	○	
公募推薦選抜	○	○	○	○	○	
指定校推薦選抜	○	○	○	○	○	
総合型選抜B日程	○	○	○	○	○	
特待生選抜	○	○	○	○	○	
総合型選抜C日程	○	○	○	○	○	
一般選抜A日程 試験選抜	○	○	○	○	○	
一般選抜A日程 大学入学共通テスト利用選抜	○	○	○	-	-	筆記試験なし
一般選抜B日程 試験選抜	○	○	○	○	○	
一般選抜B日程 大学入学共通テスト利用選抜	○	○	○	-	-	筆記試験なし
一般選抜C日程 試験選抜	○	○	○	○	○	
一般選抜C日程 大学入学共通テスト利用選抜	○	○	○	-	-	筆記試験なし
社会人選抜	○	○	○	○	○	
帰国生徒選抜	○	○	○	○	○	
外国人留学生選抜	○	○	○	○	○	
長期履修学生選抜	○	○	○	-	-	試験を実施した実績なし
秋季選抜	○	○	○	○	○	

左の文章をよく読んで、後の設問に答えなさい。

日本語会話で聞き手のもつ役割が顕著であることは、英語会話との対照研究を通して多くの研究者から指摘されています。代表的なものを紹介しましょう。

言語学者のジョン・ハインズは、英語・日本語のコミュニケーションの成否に関して、「話し手責任」と「聞き手責任」という特徴をあげています。英語によるコミュニケーションでは、話し手の責任が重く、話し手は聞き手に誤解を与えないように言葉を尽くすことが期待される一方、日本語でのコミュニケーションでは、聞き手の責任が重く、話し手が自分の考えや意図を十分に言語化しなくても、聞き手がそれを察することを期待できると指摘しています。

また、日本とアメリカのビジネスコミュニケーションを比較考察した社会言語学者のハル・ヤマダの研究でも、日本語のコミュニケーションの基本的な特徴の一つは聞き手重視であることを指摘し、「リスナー・トーク (listener talk)」という用語で特徴づけています。このような特徴は、曖昧さ、思いやり、和、ウチとソトの区別などを重んじる日本文化や、日本の社会的規範に由来し、日本語の日常会話では、相手の言いたいことを「察する」ことが求められるとしています。相手の言いたいことを「察する」ことは、日本語のコミュニケーションでは欠かせない、聞き手側の会話への積極的な参与を示す指標と言えるかもしれせん。

日本語教育学者の水谷信子は、聞き手による頻繁な相槌の使用状況を観察し、聞き手が会話に積極的に関わりながら、話し手と一緒に会話を紡いでいく有り様を「共話」と名付けました。日常のコミュニケーションをふりかえってみると、様々なシーンで、参加者が共に会話を構築していく「共話」が行われていることに気づくでしょう。

会話への聞き手の積極的な参与は、多様なシグナル——言語及び非言語行動——を通して達成されます。相槌、終助詞や頷きの使用、笑い、聞き手による問いかけ、反応表現や直前の発話の補完や完結を含むリアクティブ・トークン等、日本語会話においては聞き手の行動が多様に、そしてダイナミックにちりばめられていることがわかります。

日常生活においては、意識的に聞き手行動に着目することはないにせよ、「あの人は聞き上手だね」「親友は私の思っていることをよく察してくれるから」というように、「話し手」よりも、むしろ「聞き手」に直接関わるようなことをしばしば聞くことがあります。2章でとりあげたように、日常生活の中のやりとりを通して、ただ単に情報を正確に伝えるということではなく、とりとめもないことを話して共感したり、冗談を言い合ったり、励まし合ったりするようなことが、豊かな人間関係を築いていく上では欠かせません。つまり、このような相互的なコミュニケーションにおいては、聞き手のもつ役割は話し手のそれと同じくらい重要なのです。これは、親しい友人や家族との私的なコミュニケーションに限ったことではありません。ビジネスや公的なコミュニケーションにおいても、「聞き上手であること」は重要であり、「聞く力」は肯定的に評価され、獲得したいスキルとしてとらえられているのではないのでしょうか。

私的であれ公的であれ、会話の中で「聞き手」は、話し手に対する単なるサポート役ではなく、人間関係の根幹を支える大きな存在であるのです。日本語の「聞くこと」には、「聞く」「聴く」「訊く」といった三つの意味が混在します。そのため、「聞くこと」は、コミュニケーションの様々な場面や状況や人間関係が複雑に絡み合いながら多様に変化する、実に柔軟性のある行為として位置づけられるのではないのでしょうか。

（村田和代『優しいコミュニケーション——「思いやり」の言語学』岩波新書、二〇二三年）

【設問】

本文をふまえ、あなたにとって「聞く」とはどのような行為か、あなたの考えを書きなさい。その際、具体的な場面を挙げ、コミュニケーションにおける「聞く」こと役割について触れること。解答は六百字以上八百字以内とする（句読点などの記号や空白も字数に含む）。

左の文章をよく読んで、後の設問に答えなさい。

わたしが理工系大学で哲学を教えていたとき、理工系学生のもつべき教養の大切さを説く教授たちもたくさんいたが、その多くは、教養を科学技術者が身に備えるべき「飾り」と考えていた。日本の科学技術者は、海外の学会に出席すると、懇親会のような交流の場で日本文化について質問を受ける。ところが、理工系の研究に専念してきた科学技術者、研究者は、日本文化の価値や意味についての問いに答えることも、あるいは自ら進んで紹介することも、自分の意見を述べることもできない。とくに最近では、日本の文化について造詣のある海外の研究者も増えているので、質問も相当深い関心のもとに発せられる。

だから、「教養の大切さ」を感じた教授たちは、「学生には、教養を身につけさせなければならない。ただ、それは専門でとんがった能力をもつことが前提であるが」という。つまり研究者として成功するためには高度な専門性を、そして、恥をかかないためには教養を、という考えである。このような意味での教養とは、理工系教育に加えるべき文系の知識である。科学技術の専門家であることに加えて、文化的教養人になることも大切だという思想である。

わたしは、教養の本質はもつと別のところにあると考えている。「飾りとしての教養」に対して、わたしは、現代の若者が身につけるべき教養は、枝葉や花としての教養ではないと思っている。それは、「人間の根」としての教養である。これは「命綱」に通じる思想である。

人間を一本の木にたとえるならば、その根っこにあたるのが教養である。一本の木が生長してゆくとき、その生長を支えるのが太い根である。根が丈夫でしっかりしていれば、木は大きく育つことができる。幹を太くし、枝を広げ、葉を茂らせ、花を咲かせ、実をつける。地上に伸びた木を地中で支えるのが根である。

木が生長しようとすると、ときには風が吹く。強風で枝が折れることもある。雷が落ちれば、幹までが割れてしまうかもしれない。日照りが続くときには、地中に深く伸びた根でなければ、水を吸い上げることができない。

木が倒れてしまわないのは、根を大地に深く、また広く伸ばしているからである。根がしっかり大地を踏みしめているからこそ、木は大きくなることができし、嵐にも**旱魃**にも耐えることができる。

「教養は人間の根である」というのは、順風のなかにあるとき、その教養は、その人の幹と枝を育て、花を咲かせ、また、実をつけさせる。その人を美しく飾る。他方、人がさまざまな困難に遭遇するとき、その困難に打ち**克**つ力となって、その人を守る。

教養ある人は、よりよい選択をすることによって身を守ることができ、よりよい人生を実現することができる。よい選択をするためには、わたしたちは、まず目の前に現れてくる選択肢を選択肢として認識できなければならない。これが必要なければ、わたしたちは大切な選択肢を見逃してしまう。選択肢を選択肢として認識できる能力、複数の選択肢のなかから、よりよい選択肢、さらには最善の選択肢を選択するための能力、言い換えれば、最善の選択を支えるのが教養である。

（桑子敏雄『何のための「教養」か』ちくまプリマー新書、二〇一九年。）

【設問】 本文での筆者の考えを踏まえ、「教養」についてあなたの考えを書きなさい。また、そのなかで今後どのような「教養」を身に付けていきたいかについても具体的に触れること。なお、字数は六百字以上八百字以内とする（句読点などの記号や空白も字数に含む）。

左の文章をよく読んで、後の設問に答えなさい。

ボランティアをしている学生たちと話をしていると、自分たちのやっていることは本当に役に立っているのかとか、自己満足ではないかという言葉をよく耳にする。支援の対象になっている人たちにとって意味のあることだったのか？ 自分たちの善意を支援の対象や、一緒に活動する人に押し付けていないか？ そんな問いが寄せられる。

結論から言ってしまうえば、僕はそういう問いが発生しやすいことがボランティアの特性であり、そしてそういう問いを抱え続けざるを得ないことこそがボランティアという営みの肝であると考ええる。たとえば親の子どもに対する愛情にしろ、自分の恋人や友人に対する心遣いにしろ、それが自己満足であるかもしれないという問いかけを失ってしまったら、どこかで独りよがりになって、そして相手とのズレは広がっていく。自己満足ではないかと問うことで、自分のやっていることや、他者との関係について問い返し、反省し、そして修正していくことができる。目の前に生々しく他者があらわれてしまったら、そしてその人に対して、あるいはその人とともに何かをやりうとしたら、一〇〇点の答えなどない。だから悶々と悩まざるを得ない。

であれば、悶々と悩まないほうがおかしいとも考えられる。「ボランティアは自己満足？」問題を考える際に、僕が学生たちに必ず聞くのは、「アルバイトは自己満足ではないのか？」という問いだ。「アルバイトが自己満足だとしたら、どんな点なのだろうか？」という問いを重ねることもある。そして、「なぜアルバイトは自己満足と言われることが少なく、ボランティアは自己満足と言われることが多いのか？」と考える。

学生たちの多くは、アルバイトはお金という対価がもらえるから自己満足ではないと答える。ではなぜお金が必要なかと問えば、それは自分の暮らしに必要なものや、自分のしたいことをするための手段であると答える。生活必需品を買う。友人と食事をする。恋人や家族と出かける。大学の授業料を払う。家賃を払う。そのすべてにお金は必要だ。

しかし、アルバイトが絶対に自己満足でないとと言えるのかと言われれば、誰もが首をかしげるはずだ。まず、お金を稼いだからといって、お金があつたからといって、幸せだとは限らない。アルバイトにあげられて、友人と遊ぶ時間がなくなってしまうこともあるかもしれない。アルバイトに精を出したその次の日に、不慮の事故で死んでしまうかもしれない。それに、アルバイトしている企業の製品は発展途上国の児童労働によって製造されているかもしれないし、またその企業活動によって貧富の格差や、環境の破壊をもたらしているかもしれない。であるならば、給料という対価のために働くことは自己満足とすることも可能だ。

重要なのはアルバイト（「賃労働」と言ってもよい）を自己満足であると言うのは可能だが、そう言われることがほとんどない点だ。一時間の労働を時給という形で「お金」に変換し、対価としてもらう。本当は自分の労働はお金を得る以外の意味を持っているはずなのだが、そのことは考えなくてもよくなる。「考えなくてもよくなる」のは、「へ考えなくてもいいこと」になる」のとは違うのだが、いつの間にか一緒に考えられて、考えなくなってしまう。逆に言えば、無償の行為である、対価が発生しない行為であるとされているから、ボランティアには「自己満足」問題がついてまわる。

（猪瀬浩平『ボランティアってなんだっけ？』岩波ブックレット、二〇二〇。）

【設問】

「ボランティアは自己満足ではないか」ということについて、著者の考えをふまえ、あなたの考えを述べなさい。解答は六百字以上八百字以内とする（句読点などの記号や空白も字数に含む）。

◆ 答えはすべて解答用紙に記入してください。

- I. A. Mike と Jane の短い会話があり、続いて会話の内容についての質問があります。質問の答えとしてふさわしいものをA～Dの中から一つ選び、記号で答えてください。まずはじめに練習をします。

例 Mike: You know, Jane, our teacher's birthday is tomorrow. I think our class should give her a present.
Jane: Yes, I do too. I think some roses would be nice.
Question: What does Jane think the class should do for their teacher?

(以下の設問では会話と質問は書かれていません。) そして問題用紙に、

- A. Give her a picture.
- B. Present her with a photograph.
- C. Give her some flowers.
- D. Have a party.

とあれば、会話の内容から考えて、質問の正しい答えとなるのはCですから、解答欄にCと書きます。朗読は1回、解答の時間も短いので、注意して聴いてください。それでは始めます。

1. A. She is talking about starting their homework.
B. She is talking about finishing their homework.
C. She is talking about doing extra homework.
D. She is talking about rechecking their homework.
2. A. She wants to learn the piano.
B. She wants to talk to Mike.
C. She wants to write some piano music.
D. She wants to read some piano music.
3. A. They are talking about training for futsal.
B. They are talking about starting a futsal team.
C. They are talking about numbers for a futsal game.
D. They are talking about cancelling futsal tomorrow.
4. A. She said he should try to cut down on coffee.
B. She said he should try his coffee black.
C. She said he should move to Colombia.
D. She said he should eat less sugar.
5. A. We don't know.
B. No, she wouldn't.
C. Yes, but just a small piece.
D. Yes, she wants a big piece.

6. A. They might all go skiing.
B. They might all go snowboarding.
C. Jane and Mike might go snowboarding and Jane's aunt will ski.
D. Jane and Mike might ski and Jane's aunt will snowboard.
7. A. Stopping her gym membership.
B. Going to the gym once a week.
C. Going to the gym twice a week.
D. Going to the gym four times a week.
8. A. He's probably not interested in making it.
B. He probably doesn't like the taste.
C. He'd probably like to do it but he's too busy.
D. He probably loves the taste of it.
9. A. Yes, she will get it on the way to dinner.
B. Yes, she will bring it over in the car.
C. No, because she isn't coming over for dinner.
D. No, because she won't have a car.
10. A. He would love to go to the beach with Yuki.
B. He would love to go to the beach with Jane.
C. He would love to phone Yuki at the beach.
D. He would love to phone Jane at the beach.

I. B. 英語の文が1回だけ読めますから、よく注意して聴いてください。そして、その文に内容が最も近いものをA～Dの中から一つ選び、記号で答えてください。まずはじめに練習をします。

例 Jane went to the movies with her friend.
(以下の設問では問題文は書かれていません。)
そして問題用紙に、

- A. Jane went to the movies alone.
B. Jane's friend went to the movies without her.
C. Jane went to her friend's movie.
D. Jane and her friend went to the movies.

とあれば、今聴いた内容に最も近いのはDですから、解答欄にDと書きます。
朗読は1回、解答の時間も短いので、注意して聴いてください。
それでは、始めます。

1. A. Before 8pm, Kenji would usually be at home.
B. Before 8pm, Kenji would be at home 50% of the time.
C. Before 8pm, Kenji would rarely be at home.
D. Before 8pm, Kenji would never be at home.

2.
 - A. Reading in the train is a stress-free time for Paul.
 - B. Reading in the train gives Paul some stress.
 - C. Reading in the train is something Paul doesn't often do.
 - D. Reading is a type of training for Paul.

3.
 - A. You should take a break even if you have energy.
 - B. You should take a break if you don't have any energy.
 - C. You shouldn't take a break no matter how you feel.
 - D. You shouldn't take a break if you don't feel very well.

4.
 - A. Yuki's view was blocked by a small tree.
 - B. People couldn't see the tree because Yuki was in the way.
 - C. There wasn't much of a view even without the tree.
 - D. Yuki's view was blocked by a big tree.

5.
 - A. The recipe for pudding is more difficult than cake.
 - B. The recipe for cake is more difficult than pudding.
 - C. Making pudding and cake are both tricky.
 - D. Neither pudding nor cake are difficult to make.

6.
 - A. Passing the exam looks possible if Dan works at it.
 - B. Passing the exam looks unlikely even if Dan studies.
 - C. Passing the exam is a certainty if Dan studies.
 - D. Passing the exam will be no problem for Dan.

7.
 - A. Ken got a high-quality product, and it was cheap.
 - B. Ken got a high-quality product, but it wasn't cheap.
 - C. Ken got a low-quality product, but it was cheap.
 - D. Ken got a low-quality product, but it wasn't cheap.

8.
 - A. It's better for ideas to work alone than with a group of people.
 - B. Working alone or with a group of people makes no difference for getting ideas.
 - C. Combining people's ideas is not an effective way to be a better student.
 - D. Combining people's ideas is an effective way to be a better student.

9.
 - A. Making more money would encourage me to work more.
 - B. Making more money wouldn't encourage me to work more.
 - C. Making more money would force me to work more.
 - D. Making more money would prevent me from working more.

10.
 - A. Studying at school does not lead to getting knowledge.
 - B. Studying at school is the only way to get knowledge.
 - C. Studying at school is the best way to get knowledge.
 - D. Studying at school is one way to get knowledge.

II. 次の各文の () に入れるのに最もふさわしい語をA~Dの中から一つ選び、記号で答えてください。

- (1) The lady was standing at the door with her eyes ().
A. close B. closing C. closed D. to close
- (2) The students all remained silent, () made their teacher disappointed.
A. which B. what C. who D. whoever
- (3) The door was () open all night.
A. to leave B. leave C. leaving D. left
- (4) Mary () her homework for three hours when I visited her house.
A. done B. was doing C. had done D. had been doing
- (5) My father will come back () an hour or so.
A. before B. in C. from D. later
- (6) A friend of mine suggested () dinner at the restaurant.
A. to me to have B. me to have
C. to me that I should have D. me that I should have
- (7) I think their performance was successful, all things ().
A. consider B. considering C. considered D. to consider
- (8) () the bad weather, the party decided to climb the mountain.
A. Though B. As C. But D. Despite
- (9) Unfortunately no less than 200 people died in the ().
A. desire B. disaster C. deadline D. danger
- (10) Our plane arrived at Haneda Airport at 9 o'clock ().
A. precisely B. previously C. preciously D. pretty

III. 次の文章を読んで、質問に答えてください。

Professional 'pro' wrestling, also called "puroresu" in Japan, is a popular type of entertainment. It mixes sport and dramatic performance. It is different from American professional wrestling in many ways. Japanese pro wrestling has

its own unique style and traditions. Now, we will look at the history, main features, and some famous Japanese pro wrestlers.

Japanese pro wrestling (1) _____ in the 1950s. After World War II, Japan was looking for new types of entertainment. In 1951, a Korean-born Japanese man named Rikidōzan, started doing wrestling matches in Japan. He was the first Japanese wrestler who could win wrestling matches against American wrestlers. He was very popular and helped make pro wrestling a big part of Japanese culture. In the 1970s and 1980s, pro wrestling in Japan became even more popular. New wrestling companies, started during this time. New Japan Pro-Wrestling (NJPW) and All Japan Pro Wrestling (AJPW) are two of the biggest and most famous companies. They brought exciting matches and new wrestling stars to the fans.

One of the most important points of Japanese pro wrestling is its focus on "strong style". Strong style is a type of wrestling that looks very real and is more violent than the style often seen in American wrestling. Wrestlers use a lot of strong moves and make real contact with each other. This makes the matches look like real fights, which many fans love. American wrestling is much softer and focuses more on the wrestler's body and character.

Another feature of Japanese pro wrestling is the story telling. In Japan, the stories in pro wrestling are often very dramatic and moving. It is like watching a drama on TV! Wrestlers can be "good" characters (called "faces" in English) or "bad" characters (called "heels"), and they often have complex stories. The matches are not just about who wins or loses, but also about the wrestler's journey and challenges. Even wrestlers who lose are sometimes very popular in Japan if they show fighting spirit and (2) _____.

In America, the most popular wrestlers mostly win their matches. Japanese pro wrestling also has many different types of matches. Some are normal one-against-one matches, while others have special rules. For example, there are

“tag team” matches where wrestlers fight in pairs. There are also matches where wrestlers can use weapons like chairs and tables – these are called “hardcore” matches. Each type of match brings its own energy and challenges.

Many Japanese pro wrestlers are famous in Japan and internationally. Rikidōzan was a big star in the 1950s and 1960s and made pro wrestling very popular in Japan. Rikidōzan is sometimes called the "Father of Puroresu". Antonio Inoki, who started New Japan Pro-Wrestling, is another very popular wrestler. Giant Baba was a very tall wrestler (over 205cm tall!) who started All Japan Pro Wrestling, was also popular. Keiji Mutoh, also called The Great Muta, is known in America for his unique style and face paint, and he has fans all over the world.

Japanese pro wrestling is very popular with fans of all ages. There are many wrestling companies in Japan. They have events all over the country. (3)_____ enjoy watching matches live, on television, or online. Pro wrestling magazines and goods, like action figures and T-shirts, are also very popular. One reason for wrestling being so popular is the respect shown by the wrestlers. Japanese wrestlers train and work very hard and put on great events for the fans. They often wrestle for a long time and become loved by the audience.

Pro wrestling in Japan, or puroresu, is a unique and exciting form of entertainment. Its strong style, complex story telling, and famous wrestlers make it special. From its beginnings until today, Japanese pro wrestling continues to be loved by fans around the world. If you ever get a chance to watch a Japanese pro wrestling match, you will see why it is so popular and why fans love it so much.

1. What does the word "pro" mean in this essay?
 - A. promotion
 - B. problem
 - C. professional
 - D. profile

2. Choose the correct missing words for (1) in the second paragraph.
 - A. started
 - B. finished
 - C. changed
 - D. stopped

3. What happened to pro wrestling in the 1970s and 80s?
 - A. It became very unpopular and stopped.
 - B. It became more popular than it had been.
 - C. It became less popular than it had been.
 - D. It became a different sport.

4. What is true about the wrestler Rikidōzan?
 - A. He was only popular in Korea.
 - B. He was over 200cm tall.
 - C. He was a Korean-Japanese wrestler.
 - D. He couldn't win any matches against American wrestlers.

5. Choose the best phrase for (2) to complete the sentence.
 - A. give up quickly
 - B. give their worst
 - C. try their worst
 - D. try their best

6. What can you tell from the sixth paragraph?
- A. Japanese wrestlers are only popular in Japan.
 - B. Japanese wrestlers are only popular in other countries.
 - C. Rikidōzan, Antonio Inoki, Giant Baba and the Great Muta are the only Japanese wrestlers who are popular in other countries.
 - D. Many Japanese wrestlers are very popular in other countries.
7. Why is pro wrestling so popular in Japan?
- A. Because it is an exciting form of entertainment, with complex, moving stories.
 - B. Because it is easy for audiences to understand the simple stories.
 - C. Because it is an old Japanese tradition with a long history.
 - D. Because the wrestlers like to paint their faces.
8. Choose the best word for (3) to start the sentence.
- A. Salarymen
 - B. Fans
 - C. Office workers
 - D. Police
9. Why is Japanese wrestling so popular with fans of all ages?
- A. Because Japanese wrestling is very similar to sumo wrestling.
 - B. Because Japanese wrestlers always sign their names for fans.
 - C. Because Japanese wrestling has many events, and is unique and exciting.
 - D. Because it is easy for people to try Japanese wrestling for themselves.
10. What is the best title for this article?
- A. Pro Wrestling in Japan: A Unique and Exciting Tradition
 - B. Pro Wrestling is Dangerous and Should be Banned
 - C. Why You Should Try Pro Wrestling
 - D. We Should Have More American Pro Wrestlers in Japan

IV. 以下の Topic について、あなたの意見とその理由を英語で書いてください。

- POINTS は理由を書く際の参考となる観点を示したものです。ただし、これら以外の観点から理由を書いてもかまいません。
- 語数の目安は80～100語です。最後に語数を数えて記入してください。

TOPIC

Some people say that high school and university students should be allowed to use electronic devices including tablets and PCs in class. Do you agree with this idea? (80 ~ 100 words)

POINTS

- Useful research tool
- Education apps
- Camera
- Organization
- Distraction
- Cheating

令和7年度 鹿児島純心女子短期大学 英語問題 (英語科 特待生選抜)

リスニング

1. Mike: I'm done! Did you finish all the homework?
Jane: Yes, but I'm not sure if number 3 is correct?
Mike: I couldn't do that one either.
Jane: Let's try and figure it out together.

Question 1. What is Jane suggesting?

- A. She is talking about starting their homework.
- B. She is talking about finishing their homework.
- C. She is talking about doing extra homework.
- D. She is talking about rechecking their homework.

2. Jane: Can you read music, Mike?
Mike: Yes, but I am not very good at it. Why?
Jane: Can you help me with this piano score?
Mike: That looks ok. What do you want to know?

Question 2. What is Jane having trouble with?

- A. She wants to learn the piano.
- B. She wants to talk to Mike.
- C. She wants to write some piano music.
- D. She wants to read some piano music.

3. Jane: Mike, how many people do we have for futsal tomorrow?
Mike: I think we have 10. Is that enough?
Jane: Yes, 4 in a team and one substitute for each team.
Mike: Good. Futsal is too tiring to play without an extra Player.
Jane: Ok! I'll tell everyone the game is on!

Question 3. What are Jane and Mike talking about?

- A. They are talking about training for futsal.
- B. They are talking about starting a futsal team.
- C. They are talking about numbers for a futsal game.
- D. They are talking about cancelling futsal tomorrow.

4. Mike: Are you having milk in your coffee?
Jane: I prefer it black!
Mike: Really. It's too bitter for me without milk and sugar.
Jane: You might like this new Colombian coffee without milk.
Mike: No, I'll still have milk, please.

Question 4. What suggestion did Jane have for Mike?

- A. She said he should try to cut down on coffee.
- B. She said he should try his coffee black.
- C. She said he should move to Colombia.
- D. She said he should eat less sugar.

5. Mike: Would you like to have a little more pie?
Jane: I think so. No, wait. I'm pretty full.
Mike: I can cut you a small slice if you like.
Jane: Oh, ok then. But a really small one.

Question 5. Would Jane like more pie?

- A. We don't know.
- B. No, she wouldn't.
- C. Yes, but just a small piece.
- D. Yes, she wants a big piece.

6. Mike: Jane, does your aunt often go to Niigata?
Jane: Yeah, every weekend. She really loves to ski. Why?
Mike: I've always wanted to try snowboarding. Do you want to go?
Jane: Snowboarding sounds great. Can you go in January?
Mike: Yes. I think I can get time off around the 20th.

Question 6. What might Mike, Jane and Jane's aunt do in Niigata?

- A. They might all go skiing.
- B. They might all go snowboarding.
- C. Jane and Mike might go snowboarding and Jane's aunt will ski.
- D. Jane and Mike might ski and Jane's aunt will snowboard.

7. Jane: Are you thinking of starting at the gym?
Mike: Yes, I'd like to go four days a week.
Jane: Would you mind if I came for a couple of days a week.
Mike: That'd be great. Which days suit you?

Question 7. What is Jane thinking about doing?

- A. Stopping her gym membership.
- B. Going to the gym once a week.
- C. Going to the gym twice a week.
- D. Going to the gym four times a week.

8. Jane: Have you ever made chocolate mousse?

Mike: No, I've heard it's quite difficult.

Jane: I know, but it's delicious. Do you want to try?

Mike: Ok, but be careful, I might eat it all!

Question 8. What does Mike think about chocolate mousse?

A. He's probably not interested in making it.

B. He probably doesn't like the taste.

C. He'd probably like to do it but he's too busy.

D. He probably loves the taste of it.

9. Mike: Jane, can you ask your mum if she could pick up some cheese before she comes over for dinner?

Jane: Yes . . . but she doesn't have the car today so she'll have to walk here with it.

Mike: Okay. Cheese is pretty heavy. In that case I'll get something at the corner store after work. There isn't much choice though.

Jane: Thanks. That'll save mum carrying too much.

Question 9. Will Jane's mum buy cheese for Mike and Jane?

A. Yes, she will get it on the way to dinner.

B. Yes, she will bring it over in the car.

C. No, because she isn't coming over for dinner.

D. No, because she won't have a car.

10. Jane: Have you asked Yuki to go to the beach next week?

Mike: Yes, er . . . actually, no. I was too nervous!

Jane: You need to ask her now - before she makes other plans! Where's your phone? I'll do it.

Mike: No, I'll call. Just give me a minute to think.

Question 10. What is Mike hoping to do on Saturday?

A. He would love to go to the beach with Yuki.

B. He would love to go to the beach with Jane.

C. He would love to phone Yuki at the beach.

D. He would love to phone Jane at the beach.

I. B.

1. Kenji almost never gets home from work before 8pm.
 - A. Before 8pm, Kenji would usually be at home.
 - B. Before 8pm, Kenji would be at home 50% of the time.
 - C. Before 8pm, Kenji would rarely be at home.
 - D. Before 8pm, Kenji would never be at home.

2. Paul often reads a book in the train because it relaxes him.
 - A. Reading in the train is a stress-free time for Paul.
 - B. Reading in the train gives Paul some stress.
 - C. Reading in the train is something Paul doesn't often do.
 - D. Reading is a type of training for Paul.

3. You should have a rest if you feel really tired.
 - A. You should take a break even if you have energy.
 - B. You should take a break if you don't have any energy.
 - C. You shouldn't take a break no matter how you feel.
 - D. You shouldn't take a break if you don't feel very well.

4. The tree was huge and Yuki couldn't see the view because of it.
 - A. Yuki's view was blocked by a small tree.
 - B. People couldn't see the tree because Yuki was in the way.
 - C. There wasn't much of a view even without the tree.
 - D. Yuki's view was blocked by a big tree.

5. Chocolate pudding is harder to make than chocolate cake.
 - A. The recipe for pudding is more difficult than cake.
 - B. The recipe for cake is more difficult than pudding.
 - C. Making pudding and cake are both tricky.
 - D. Neither pudding nor cake are difficult to make.

6. If Dan studies for the exam, then he might pass!
 - A. Passing the exam looks possible if Dan works at it.
 - B. Passing the exam looks unlikely even if Dan studies.
 - C. Passing the exam is a certainty if Dan studies.

D. Passing the exam will be no problem for Dan.

7. Ken's new headphones are fantastic, but they were expensive!

- A. Ken got a high-quality product, and it was cheap.
- B. Ken got a high-quality product, but it wasn't cheap.
- C. Ken got a low-quality product, but it was cheap.
- D. Ken got a low-quality product, but it wasn't cheap.

8. Sharing ideas with a group of people is a good way to study. You can get more ideas this way.

- A. It's better for ideas to work alone than with a group of people.
- B. Working alone or with a group of people makes no difference for getting ideas.
- C. Combining people's ideas is not an effective way to be a better student.
- D. Combining people's ideas is an effective way to be a better student.

9. I wouldn't work late even if the company paid overtime.

- A. Making more money would encourage me to work more.
- B. Making more money wouldn't encourage me to work more.
- C. Making more money would force me to work more.
- D. Making more money would prevent me from working more.

10. School education is not the only way to learn.

- A. Studying at school does not lead to getting knowledge.
- B. Studying at school is the only way to get knowledge.
- C. Studying at school is the best way to get knowledge.
- D. Studying at school is one way to get knowledge.

解 答 用 紙

受験番号

得 点
120 points

I. A.

例										小計
C										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
D	D	C	B	C	C	C	D	D	A	

2 points each

I. B.

例										小計
D										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
C	A	B	D	A	A	B	D	B	D	

2 points each

II.

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	小計
C	A	D	D	B	C	C	D	B	A	

3 points each

III.

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	小計
C	A	B	C	D	D	A	B	C	A	

3 points each

IV.

賛成意見の解答例

High school and university students should be allowed to use their electronic devices in class because they are useful learning tools that give students access to a large amount of information from all over the world. Students can use these to help them when they are looking for the answer to a question, or when they are doing research for a presentation or essay. Educational apps can be used by teachers to help students understand and practice difficult ideas. Finally, they can be used to take notes about class schedules, reminders, and for communication with teachers. (96 words)

反対意見の解答例

High school and university students should not be allowed to use their electronic devices in class because they are a big distraction. Students will spend all their time looking at pictures, watching videos or playing games and not do their classwork. They will not listen to their teacher or learn anything in the class, and only think about those devices. They may also use those devices to cheat in tests and quizzes, which is unfair to other students. Using electronic devices too much can also lead to health problems like neck pain and bad eyes. (96 words)

小計
20 points

左の文章をよく読んで、後の設問に答えなさい。

オールドタイマーの在日コリアンは今や外国人中のマイノリティになったが、定住民として地域のなかに生活と地位を築きつつあり、ニューカマー外国人の定着、定住もある程度進んでいる。先に見たように、家族移民化も進んでいる。それにより、職場でも、地域社会でも、団地などの居住空間でも、学校等でも、多文化（多民族、多国籍などの代替表現）の人の接触、相互行為などが行われるようになる。そこに摩擦、対立、相互無関心ではなく多文化共生は成り立っているのか、と人は問う。問いは、それとして重要である。

だが、多文化共生とは何か。次のような理解の仕方がある。「多文化共生とは」国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」であるという（総務省「多文化共生の推進に関する研究会報告書」2006年）。この定義（？）に異論があるわけではないが、「共生」の問題、条件の掘り下げが不十分だと感じる。

共生とは、コミュニケーション、相互理解、文化交流といったもので成り立つのだろうか。右の定義（？）に「対等な関係を築こうとしながら……」とあり、関係を変える努力を求めるのはよいが、現実はというと、日本で働き、暮らしている外国人／移民の多くは日本人と対等に職や地位に就き、収入を得ているとはいえず、社会的権利や政治的権利でも生活上の権利でも差別を被っている。これは、繰り返し論じてきた。たとえばフィリピンのAさんは、自動車部品工場で働き、日本語習得につとめ、職場の日本人同僚とも、近隣の日本人住民ともコミュニケーションをとり、よき人間関係をつくっているが、自身は安い時給で働く、派遣労働者である。実際、コミュニケーションや相互理解が成り立てば、それで対等な生き方が実現されることにならない。移民第二世代というべきペルー人のT君、日本語の進歩がすばらしく、高校に進み、日本人の友人、知人も多かった。推薦入試で四年制大学に入ることができ、希望に燃えていたが、半年後、大学を中退してしまう。学費が払えなくなつたからであり、工場労働者である親にはまったく援助を頼めなかったからだ。日本人の友人、知己があっても、彼よりはるかに安定した職、地位、収入を享受しているとき、彼らと「共に生きている」という実感は得られないただろう。対等ではなく、不平等、差別があつて、生きられる世界に仕切りや格差があつては、「共生」をほとんど空語と感じさせる現実といえよう。

宮島喬『「移民国家」としての日本——共生への展望』（岩波新書、二〇二二年）

【設問】 少子高齢化の進む地域社会において、今後ますます外国人定住者との「共生」の機会が増えると予想されるが、そうした「多文化共生」社会はどのような社会なのか、本文を踏まえた上であなたの考えを書きなさい。その際、多文化共生を実現するために必要と考えられる支援のあり方について具体的に提案を行うこと。

解答は六百字以上八百字以内とする（句読点などの記号や空白も字数に含む）。

左の文章をよく読んで、後の設問に答えなさい。

「自立」ということは、人々の心を惹きつける標語として、長い間その地位を保ち続けているようである。時代によって、そのような標語は変化するもので、かつては「滅私奉公」などというのが幅をきかせていたが、今は評判がよくない。「自立」は、その魅力をなかなか失わずにいるようである。しかし、どのような有難い標語でも、それが人氣と共に一人歩きをはじめると、不都合なことも生じてくると思われる。

いつぞや、こんなことがあった。幼稚園の子どもで言葉がよく話せないということ、母親がその子連れて相談に来られた。知能が別に劣っているわけでもないのに、言葉が極端におくれている。よく話を聞いてみると、その母親は、子どもを「自立」させることが大切だと思い、できる限り自分から離すようにして子どもを育てたのである。夜寝るときもできるだけ添寝をしないようにして、一人で寝かせるようにすると、はじめのうちは泣いていたが、だんだん泣かなくなり、一人でさつと寝にゆくようになったので、親戚の人たちからも感心されていた、というのである。

このようなとき、その子の「自立」は見せかけだけのものである。親の強さに押されて、辛抱して一人で行動しているだけで、それは本来的な自立ではなく、そのために言葉の障害などが生じてきている。このときは、そのことをよく説明して、母親が子どもの接近を許すと、今までの分を取り返すほどに甘えてきて、それを経過するなかで、言葉も急激に進歩して、普通の子たちに追いついてきたのである。

自立ということを依存と反対である、と単純に考え、依存をなくしてゆくことよって自立を達成しようとするのは、間違ったやり方である。自立は十分な依存の裏打ちがあつてこそ、そこから生まれでてくるものである。子どもを甘やかすと、自立しなくなる、と思う人がある。確かに、子どもを甘やかすうちに、親の方がそこから離れられないと、子どもの自立を妨げることになる。このようなときは、実は親の自立ができていないので、甘えること、甘やかすことに対する免疫が十分にできていないのである。親が自立的であり、子どもに依存を許すと、子どもはそれを十分に味わった後は、勝手に自立してくれるのである。

自立と言っても、それは依存のないことを意味しない。そもそも人間は誰かに依存せずに生きてゆくことなどできないのだ。自立ということは、依存を排除することではなく、必要な依存を受け入れ、自分がどれほど依存しているかを自覚し、感謝していることではなからうか。依存を排して自立を急ぐ人は、自立ではなく孤立になってしまふ。

このあたりのことが未だあまりわからなかった頃、私はヨーロッパに行き、ヨーロッパの人たちは日本人より自立的だから、親子の関係などは、日本よりはるかに薄いのだろう、などと勝手なことを考えていた。ところが、実際にスイスに行ってみると、親子が離れて暮らしている場合、電話で話し合ったり、贈物をしたり、あるいは、時に会食したりする機会が日本人より、はるかに多いことに気づいて不思議に思ったことがある。これをよく観察して思ったことは、彼らは自立しているからこそ、よくつき合っているのだ、ということであつた。つまり、つき合いの機会を多くすることによって、自立を破壊されるというおそれを感じていないのである。

これが、日本の場合であれば、うっかり親と話をすると、何か自分の自立をおびやかされそうに感じる。あるいは、自分は自立しているから、別に親と会ったり、話し合ったりする必要がない、と考える。このような傾向が強くなるのではなからうか。しかし、それはよく考えてみると、自立ではなく孤立になっているように思われる。確かに、親子の関係がベタベタしていて、自立ができていないな、と感じさせられる場合もある。このようなときは、依存を裏打ちとしての自立というより、依存のなかに両者ともに溺れこんでいる、という感じがする。

（河合隼雄『こころの処方箋』新潮文庫、一九九八年。）

【設問】 本文での筆者の主張をふまえ、「自立」についてあなた自身の考えを述べなさい。解答は六百字以上八百字以内とする（句読点などの記号や空白も字数に含む）。

【一】 次の文章は太宰治「東京八景（苦難の或人に贈る）」の一節である。文章をよく読み、後の設問に答えなさい。

それから、ふたつきほど経^たって私は、更に明るい一景を得た。某日、妻の妹から、「いよいよTが明日出発する事になりました。芝公園で、ちよつと面会出来るそうです。明朝九時に、芝公園へ来て下さい。兄上からTへ、私の気持を、うまく伝えてやって下さい。私は、ばかですから、Tには何も言っていないのです」という速達が来たのである。妹は二十二歳であるが、柄が小さいから子供のように見える。昨年、T君と見合いをして約婚したけれども、ユイノウ^アの直後にT君は応召になって東京の或^ある聯隊^{れんたい}にはいった。私も、いちど軍服のT君と逢^あつて三十分ほど話をした事がある。はきはきした、上品な青年であった。明日いよいよ戦地へ出発する事になった様子である。その速達が来てから、二時間も経たぬうちに、また妹から速達が来た。それには、「よく考えてみましたら、先刻のお願いは、蓮葉^{はすづは}な事だと気が付きました。Tには何もおっしゃらなくてもいいのです。ただ、お見送りだけ、して下さい」と書いてあったので、私も、妻も噴き出した。ひとりで、てんでこ舞いしている様が、よくわかるのである。妹は、その二、三日前から、T君の両親の家に手伝いに行っていたのである。

翌朝、私たちは早く起きて芝公園に出かけた。増上寺の境内に、大勢の見送り人が集っていた。カアキ色の団服を着ていそがしげに群集を掻^かきわけて歩き廻っている老人を、つかまえて尋ねると、T君の部隊は、山門の前にちよつと立ち寄り、五分間^イキュウケイして、すぐにまた出発、という答えであった。私たちは境内から出て、山門の前に立ち、T君の部隊の到着を待った。やがて妹も小さい旗を持って、T君の両親と一緒にやって来た。私は、T君の両親とは初対面である。まだはつきり親戚^{しんせき}になつたわけでもなし、社交下手の私は、ろくにアイサツもしなかった。軽く目礼しただけで、

「どうだ、落ちついているか？」と妹のほうに話しかけた。

「なんでもないさ」妹は、陽気に笑って見せた。

「どうして、こうなんでしょう」妻は顔をしかめた。「そんなに、げらげら笑って」

T君の見送り人は、ひどく多かつた。T君の名前を書き記した大きい幟^{のぼり}が、六本も山門の前に立ちならんだ。T君の家の工場で働いている職工さん、女工さんたちも、工場を休んで見送りに来た。私は皆から離れて、山門の端のほうに立った。ひがんでいたのである。T君の家は、金持だ。私は、齒も欠けて、服装もだらしない。袴^{はかま}もはいていなければ、帽子さえかぶっていない。貧乏^④文士だ。息子の許嫁^{いいなすけ}の薄穢^{うすぎたな}い身内が来た、とT君の両親たちは思っているにちがいない。妹が私のほうに話しに来ても、「おまえは、きょうは大事な役なのだから、お父さんの傍に附いていなさい」と言って追いやった。T君の部隊は、なかなか来なかつた。十時、十一時、十二時になつても来なかつた。女学校の修学旅行の団体が、遊覧バスに乗って、幾組も目の前を通る。バスの扉に、その女学校の名前を書いた紙片が貼^はりつけられて在る。コキョウの女学校の名もあつた。長兄の長女も、その女学校にはいつている筈である。乗っているのかも知れない。この東京名所の増上寺山門の前に、ばかな叔父が、のっそり立っているさまを、叔父とも知らず無心に眺めて通つたのかも知れない等と思った。二十台ほど、絶えては続き山門の前を通り、バスの女^メシヤシヨウがその度^{たびごと}毎に、ちよつど私を指さして何か説明をはじめるのである。はじめは平気を装っていたが、おしまいには、私もポオズをつけてみたりなどした。バルザック像のようにゆつたりと腕組みした。すると、私自身^⑤が、東京名所の一つになつてしまつたような気さえして来たのである。

B

、製図器で、正確な円を描いたとしよう。さらにまた熟した手で自由に円を描くとしよう。

I だと

令和七年度 鹿児島純心女子短期大学 国語問題（一般選抜A日程） その三

いう点では前者が上だが、美しさから見ると後者の方が上になる。なぜであろうか。天心の考えを当てはめると、前者は II なるゆえに美としては不充分になり、後者は III なるゆえに、美が増している。だから、茶器にはどこかこの IV さがないと美しくならない。ここで美しさが「不完全なるもの美」だと知れよう。

では、何故、完全なるものが、美感をそぐのか。それはこう説明して筋が通ろう。完全なものは、完全以外のものではない。それゆえ完全なものは、完全という性質に決定されてくる。いわば完全という限定なのである。規定^㉑であるから、ゆとりがない。それゆえ 完全なものは、心にくつろぎをあたえない。余りにもキチンとしていて、これが 窮屈^イな感じをあたえる。のびやかな、ゆるやかな、休らいの世界ではない。それゆえ、茶碗に例をとれば、かりに 轆轤^{ろくろ}が正確で、少しのゆがみもなく、面も正確に平だと受ける感じはいとも固くまた冷たい。この固さ冷たさは、美しさを殺してしまう。 C 余りにも完全な形は、心に潤いをあたえず、寛^{くろ}ぎを贈らない。

私達はそういうものを最上の美しさだと呼ぶわけにゆかない。ここで完全でないこと、つまり不完全なことが、美の要素として大切だということになる。前に記した手で描く線は、完全な線とはならない。これは手が不自由なためだと説くこともできようが、逆に手の自由が完全を破ってしまうと云ってもよい。実はこの自由が美しさを生む母になる。

私は D 思うのであるが、もしもミロのヴィナスに両腕があつて、完全なものであつたら、よもやルーブルの一室の中央に安置されはしないであろうと。腕のないのは不完全であるが、その不完全さが、かえってあの女神の像をこの上なく美しくしている。そう私には思われてならぬ。トルソに美があるときも、不完全さがかえってその美を助けている。例えばまた 城郭^つの美は、廢墟^ちに於てしばしばもっと美しい。古画の美は、それがま新しくないということが一つの大きな要素になる。では 何故^㉒、不完全なるものがかえって美感を誘うのであるか。次のように説明してよくはないか。不完全なものは 余韻^ゑがあるのである。それは、いわば不限定であつて、更にそれ以上のものに心を誘う。不完全なものには夢が含まれてくる。この含みが吾々を想像の人にさせる。完全なものにはこれに反して定義するから、見るものの創造を封じてしまう。それゆえ、不完全なものにおいて吾々は一段と自由な心に入る。これがゆとりや寛ぎの念を贈ってくれる。 E 度を過ごせば別だが、総じて完全なものよりも不完全なものに、もっと心の休らひを感じる。この潤いや親しさの情が美感を温めてくれるのである。不完全なものにして始めて詩が 湧^あいてくる。

（柳宗悦「茶器の美と禪」『柳宗悦コレクション2 もの』ちくま学芸文庫、二〇一一年）

問一 傍線部ア～オの漢字の読みをひらがなで答えなさい。

問二 空欄 A・B・C・D・E に入る最も適切な語句を、次のア～オの中から選びそれぞれ答えなさい。

- ア しばしば イ それゆえ ウ いわば エ もっとも オ かりに

問三 空欄 I～IV に、完全・不完全のいずれかの言葉を入れ適切な文章にしなさい。答える際には完全をア、不完全をイとし記入すること。

令和七年度 鹿児島純心女子短期大学 国語問題（一般選抜A日程） その四

問四 傍線①「規定」について、本文の中で同様の意味で使われている本文中の言葉を二字で抜き出さない。

問五 傍線②「完全なものは、心にくつろぎをあたえない」とあるが、その理由を次のようにまとめた際に、空欄に入る適切な語句を本文中よりそれぞれ抜き出さない。

完全なものは□□□□□□であるため、受ける印象が□□□□□□□□ものになるから。

問六 傍線③「何故、不完全なるものがかえって美感を誘うのであるか」とあるが、その理由を本文中の言葉を用いて六〇字以内で説明しなさい（句読点などの記号も字数に含む）。

受験番号

【一】 問一	ア	ア	結納
	イ	イ	休憩
	ウ	ウ	挨拶
	エ	エ	故郷
	オ	オ	車掌

- 問二のウ
問二のオ
問三のイ

問四 T君のことが心配だが、見送りの人たちの前で強がっているから。

問五 エ

問六	周	の	人	た	ち	に	比	べ	、	自	分	は	だ	ら	し	な	く	ま	た	貧	乏	で	あ	る	
	と	卑	屈	に	感	じ	て	い	た	が	、	山	門	に	立	っ	こ	と	で	心	に	余	裕	が	で
	き	、	自	信	を	と	り	も	ど	す	気	持	ち	に	な	っ	た	。							

【三】 問一	ア	ア	おもむ
	イ	イ	きゅうくつ
	ウ	ウ	じょうかく
	エ	エ	よいん
	オ	オ	わ

- 問二 A ウ B オ C イ D ア E エ

- 問三 I ア II ア III イ IV イ

問四 定義

問五 完全なものには完全といる限定であるため、受ける印象が固くまた冷たいものになるから。

問六	不	完	全	な	も	の	は	不	限	定	で	あ	る	た	め	、	そ	れ	以	上	の	含	み	を	持
	ち	人	び	と	に	自	由	な	想	像	を	さ	せ	、	潤	い	や	親	し	さ	を	感	じ	さ	せ
	る	か	ら	。																					

合計

令和7年度 鹿児島純心女子短期大学 数学問題（生活学科 一般選抜 A 日程）

（注意）解答はすべて解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

【I】 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の数量の大小関係を不等式で表しなさい。

i) 2つの数 a と b の和は、差の2乗より大きい、かつ、積より小さい。

ii) a %の食塩水 100 g の濃度を b %以下にするためには、 c g 以上の水を加える必要がある。

(2) $90^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ とする。 $\sin \theta = \frac{1}{5}$ であるとき、 $\cos \theta$ 、 $\tan \theta$ の値を求めなさい。

(3) $2\sqrt{3}$ の整数の部分を a 、小数の部分を b とするとき、 $\frac{a}{b}$ の整数の部分を求めなさい。

(4) 30名を対象にパソコンとタブレットの所有状況を調査したところ、パソコンを持っている人が21名、タブレットを持っている人が12名、パソコンとタブレットのいずれも持っていない人が3名だった。このとき、パソコンとタブレットを両方とも持っている人は何人いるか答えなさい。

【II】 赤玉2個と白玉6個の入った袋から玉を1個取り出し、色を見てからもとにもどす。この試行を繰り返すとき、次の各問いに答えなさい。

(1) 3回の試行ですべて白玉が出る確率を求めなさい。

(2) 4回の試行で赤玉がちょうど2度出る確率を求めなさい。

(3) 5回目の試行で2度目の白玉が出る確率を求めなさい。

【III】 次の2次関数の最大値、最小値を求めなさい。

(1) $y = 2x^2 - 16x + 33$ ($0 \leq x \leq 3$)

(2) $y = -\frac{2}{3}x^2 + 4x$ ($1 \leq x \leq 4$)

【IV】 三角形 ABC において、 $AB = 2\sqrt{2}$ 、 $BC = CA = 2$ とする。三角形 ABC の内接円と辺 BC、辺 CA、辺 AB との接点を、それぞれ P、Q、R とするとき、次の各問いに答えなさい。

(1) AQ の長さを求めなさい。

(2) 三角形 ABC の内接円の半径 r の値を求めなさい。

(3) 三角形 PQR の面積 S を求めなさい。

【V】 以下の度数分布表は、37人の生徒を対象に行ったある調査の結果を整理したものである。この度数分布表について、次の各問いに答えなさい。

階級	階級値	度数
0 以上 10 未満	5	2
10 ~ 20	15	3
20 ~ 30	25	7
30 ~ 40	35	13
40 ~ 50	45	9
50 ~ 60	55	3

(1) 第3四分位数が含まれる階級の階級値を求めなさい。

(2) 最頻値を求めなさい。

令和7年度 鹿児島純心女子短期大学 数学問題（生活学科 一般選抜 A 日程）

解答例

受験番号
-

【I】	(1)	i) $(a - b)^2 < a + b < ab$	ii) $\frac{a}{100 + c} \leq \frac{b}{100}$	小 計
	(2)	$\cos \theta = -\frac{2\sqrt{6}}{5}$	$\tan \theta = -\frac{\sqrt{6}}{12} \left(= -\frac{1}{2\sqrt{6}} \right)$	
	(3)	6	(4) 6 人	
【II】	(1)	$\frac{27}{64}$	(2) $\frac{27}{128}$	
	(3)	$\frac{9}{256}$	/	
【III】	(1)	最大値 = 33	最小値 = 3	
	(2)	最大値 = 6	最小値 = $\frac{10}{3}$	
【IV】	(1)	AQ = $\sqrt{2}$	(2) $r = 2 - \sqrt{2}$	
	(3)	$S = \sqrt{2} - 1$	/	
【V】	(1)	45	(2) 35	

合 計

◆ 答えはすべて解答用紙に記入してください。

I. JohnとYokoの短い会話があり、続いて会話の内容についての質問があります。質問の答えとしてふさわしいものをA～Dの中から一つ選び、記号で答えてください。まずはじめに練習をします。

例 John: You know, Yoko, our teacher's birthday is tomorrow. I think our class should give her a present.
Yoko: Yes, I do too. I think some roses would be nice.
Question: What does Yoko think the class should do for their teacher?
(以下の設問では会話文と質問文は書かれていません。)

そして問題用紙に、

- A. Give her a picture.
- B. Present her with a photograph.
- C. Give her some flowers.
- D. Have a party.

とあれば、会話の内容から考えて、質問の正しい答えとなるのはCですから、解答欄にCと書きます。
朗読は1回、解答の時間も短いので、注意して聴いてください。それでは、始めます。

1. A. Yes, she has one dog.
B. Yes, she has two dogs.
C. No, but she has a cat.
D. No, but she has two cats.
2. A. Put the comics on the bookshelf.
B. Give his comics back immediately.
C. Give his comics back after the vacation.
D. He doesn't make any request.
3. A. In 10 minutes.
B. In 30 minutes.
C. In 45 minutes.
D. Whenever the cake is ready.
4. A. It was easy to start but hard to finish writing.
B. It was difficult to start but easy to finish writing.
C. The start and the finish of the essay were easy.
D. The start and the finish of the essay were difficult.
5. A. John just told her that he owns a leather jacket.
B. John just told her some good news.
C. John just told her that he bought a jacket for her.
D. John just told her that he has saved lots of money.

6. A. Yes, she will do the shopping on the way home.
B. Yes, she buys everything in Nishimuta.
C. No, she doesn't like going to Nishimuta.
D. No, she will not get toothpaste.
7. A. He hasn't really started.
B. He has tried, but he can't ride it yet.
C. He can now ride it really well.
D. He has sold the skateboard!
8. A. John and Yoko have never been to Disneyland.
B. Yoko has been to Disneyland by herself recently.
C. John has been to Disneyland by himself recently.
D. John and Yoko have both been to Disneyland recently.
9. A. An ocean holiday in Australia.
B. A driving holiday in Australia.
C. Buying a car in Australia.
D. Buying the Great Barrier Reef in Australia.
10. A. He wants to watch a drama show on Netflix.
B. He wants to watch a comedy show on Netflix.
C. He wants to watch a fantasy show on Netflix.
D. He wants to watch a mystery show on Netflix.

II. 次の各文の () に入れるのに最もふさわしいものをA~Dの中から一つ選び、記号で答えてください。

1. Jeff had his leg () in the soccer game last Saturday.
A. break B. breaking C. broke D. broken
2. Ms. Brown has several pots in her garden, and she is going to plant some tulips in ().
A. it B. this C. them D. these
3. My brother has () to Paris many times, so he knows the area well.
A. been B. stayed C. lived D. visited

4. If it () tomorrow, I won't drive my car.
A. snows B. is snow C. will snow D. will be snow
5. This sign () "Turn off your mobile phones."
A. says B. writes C. sees D. looks
6. The way people speak differs () on where they are from.
A. according B. depending C. basing D. deciding
7. Flight () not only serve food and drinks but also give instructions to passengers in an emergency situation.
A. agents B. artists C. attendants D. applicants
8. When you leave, please make () you have all your personal items with you.
A. sure B. careful C. necessary D. reminded
9. Mr. Baker () by his students' performance on the stage.
A. pleased B. inspired C. was amazing D. was impressed
10. You have a bright future. I () you good luck.
A. want B. hope C. wish D. pray

III. 次の文章を読んで、質問に答えてください。*印は後ろに注があることを示しています。

Whether it be movies on Disney+, comedy on YouTube, documentaries on Netflix, anime on Amazon Prime, or music on Spotify, almost everybody uses some sort of streaming media these days. But how did we get to this point so quickly? It was only less than 15 years ago that most people had no streaming subscriptions* and had to rely on their own collections of physical media, for example DVDs and music CDs, if they wanted something to watch or listen to. So here are a few reasons behind the sudden rise of streaming.

Firstly however, we have to mention the most important factor behind the increase in streaming content, which is the introduction of faster Internet speeds. New technology has allowed for much more data to be sent out over the Internet, and now we can watch and listen to high quality movies and music.

Another reason for streaming's success is convenience. T.V and cable T.V have always had fixed schedules. This means you could only watch what you wanted to at the set time. So, if you were busy or forgot, you could not watch the program or movie until it came back as a rerun*, which sometimes never happened. You also could try and record it on tape or hard drive, which required expensive equipment. However, with streaming, the biggest (____ 1 ____) is that you can watch whatever you want, whenever you want. You can also do this on a variety of different devices, such as phones, computers, tablets and TVs, making the watching experience even more convenient. This flexibility* is great for people with busy lifestyles and lets users control their entertainment experience. Streaming services like Amazon Prime also led to the end of video rental stores in many countries. It is much easier to just rent or buy a digital version of the latest movie release in your own home than it is to go to the store. Digital copies of media also help people with a common problem with physical media. People's huge collection of songs and movies, which used to take up an entire cupboard or even an entire room can now be accessed on just one smartphone!

Video streaming services, like Netflix, also have huge libraries, often featuring original content with classic shows and movies. Music streaming services, like Apple Music and Spotify, offer over 100 million songs, all of which would take over 570 years to listen to!! This gives users freedom of (____ 2 ____), and covers a range of tastes and makes sure there's something for everyone. From action movies to children's shows, Korean dramas to American reality programs, and J-Pop to hard rock, every age group is covered. Also, niche interests, meaning things that only a small group of people are interested in, that you could never see on traditional TV or cinemas, can find a home on streaming services. All this variety makes streaming services very attractive to people.

Cost also plays a role. Streaming services often offer many different subscription plans, which allows users to choose the price package that best fits their budget. This can be a lot cheaper than cable or satellite TV packages, and you do not need to buy or rent any special equipment. Many streaming sites have also just begun to offer much cheaper subscriptions in exchange for the users watching some advertisements before the movie or program starts.

Finally, social media has also played an important role in the popularity of streaming. Online communities allow viewers to discuss shows or song recommendations, and create a sense of shared experience. Shows/songs can become huge successes overnight, and this buzz* and excitement can (3) many new viewers/listeners.

Of course, streaming has its problems as well. Streaming depends on high-speed Internet, so in areas where the Internet is slow, the people living there cannot access things like Netflix and Hulu. High quality audio and video also use up a lot of data, which can be a problem for people with data capped* plans. There are also so many streaming services now, over 200, that people are starting to suffer from subscription fatigue. Subscription fatigue refers to the feeling of frustration* customers experience when faced with the growing number of subscription services. People are not sure which ones are best, and they all require a monthly payment, which together can add up to quite a lot of money.

* subscriptions サブスク * rerun 再放送 * flexibility 柔軟性, 融通性
* buzz 評判 * data cap データ量の上限 * frustration いら立ち

1. 15 years ago, how did most people watch a movie or listen to a song at home?
 - A. Use their own physical media.
 - B. Use streaming services.
 - C. Use the library.
 - D. Use the cinema.
2. Which word would be most appropriate in (1)?
 - A. hope
 - B. problem
 - C. cost
 - D. advantage
3. What makes streaming services even more convenient?
 - A. The fact that they are very cheap.
 - B. The fact that they can be used on many devices.
 - C. The fact that they can be used on only one device.
 - D. The fact that they are very popular.

4. Why are streaming services good for people who live in apartments?
- A. Because they take up a lot of space.
 - B. Because they are high quality.
 - C. Because they are cheaper.
 - D. Because they take up no space.
5. Which word would be most appropriate in (2)?
- A. chance
 - B. choice
 - C. change
 - D. challenge
6. Streaming is more flexible than cable TV because _____
- A. you can choose what you watch and how much you pay.
 - B. you can choose what you watch but not how much you pay.
 - C. you cannot choose what you watch but can choose how much you pay.
 - D. you cannot choose what you watch nor how much you pay.
7. How does social media help streaming services?
- A. People share the latest celebrity information.
 - B. People can listen to songs earlier than others.
 - C. People share what they like and encourage others to view it too.
 - D. People can watch movies on Instagram or X.
8. Which word would be most appropriate in (3)?
- A. attempt
 - B. attention
 - C. attend
 - D. attract
9. What of these statements is true about the number of streaming services?
- A. There are over 200 now, but this will decrease soon.
 - B. There are over 200 now, but this will increase soon.
 - C. There are under 200 now, but this will decrease soon.
 - D. There are under 200 now, but this will increase soon.
10. What is the best title for this article?
- A. Streaming: A change in how people buy DVDs
 - B. Streaming: A change in how people play music
 - C. Streaming: How and why it became so expensive
 - D. Streaming: How and why it became so popular

IV. 以下の TOPIC について、あなたの意見とその理由を英語で書いてください。

- POINTS は理由を書く際の参考となる観点を示したものです。ただし、これら以外の観点から理由を書いてもかまいません。
- 語数の目安は 80～100 語です。最後に語数を数えて記入してください。

TOPIC

Some people think that watching movies at home is better than going to the movie theater. Do you agree with this idea? Please explain your opinion in 80 to 100 words.

POINTS

- Comfort and convenience
- Cost
- Screen size
- Atmosphere

Ippan for 2025 entrance (TEACHERS)

1. John: Yoko, do you have a dog?
Yoko: No, but I have two cats.
John: Really! When did you get your cats?
Yoko: I have had them for years!

Question 1. Does Yoko have a dog?

- A. Yes, she has one dog.
B. Yes, she has two dogs.
C. No, but she has a cat.
D. No, but she has two cats.
2. Yoko: John, do you have any new comics?
John: There are a few on the bookshelf.
Yoko: Can I borrow some for the school holidays?
John: Sure, but please bring them back after summer.

Question 2. What does John ask Yoko to do?

- A. Put the comics on the bookshelf.
B. Give his comics back immediately.
C. Give his comics back after the vacation.
D. He doesn't make any request.
3. Yoko: Is that cake you're making ready yet?
John: No, it'll be about fifteen minutes.
Yoko: It's 6:30 now, will we be on time?
John: Yes, I told Dave we'd be there just after seven.

Question 3. When are John and Yoko supposed to meet Dave?

- A. In 10 minutes.
B. In 30 minutes.
C. In 45 minutes.
D. Whenever the cake is ready.
4. John: Did you write the essay Mr. Jones gave us?
Yoko: Yes, it wasn't difficult, but the ending took me all night.
John: Can I have a look at your conclusion?
Yoko: Actually, I wanted to ask you about that.

Question 4. From this conversation, what can we understand about the essay?

- A. It was easy to start but hard to finish writing.
B. It was difficult to start but easy to finish writing.
C. The start and the finish of the essay were easy.

D. The start and the finish of the essay were difficult.

5. John: Are you still going to buy that leather Jacket?
Yoko: I think so. I've saved some money.
John: There's a sale at the shop this weekend.
Yoko: Great! Maybe I can get a bargain.

Question 5. Why is Yoko happy?

- A. John just told her that he owns a leather jacket.
B. John just told her some good news.
C. John just told her that he bought a jacket for her.
D. John just told her that he has saved lots of money.
6. John: Yoko, are you going to get the dog food today?
Yoko: Yes. I'll pick it up on the way home.
John: Do you need anything from the pharmacy?
Yoko: Toothpaste. They don't have the kind I like in Nishimuta.
John: No problem.

Question 6. Is Yoko going to get all the shopping?

- A. Yes, she will do the shopping on the way home.
B. Yes, she buys everything in Nishimuta.
C. No, she doesn't like going to Nishimuta.
D. No, she will not get toothpaste.
7. Yoko: John, can you ride that skateboard yet?
John: Not really. I've practiced but it's tough!
Yoko: Ok! Do you need a little help?
John: What! Are you going to tell me now that you are good at it?

Question 7. How is John's skateboarding riding going?

- A. He hasn't really started.
B. He has tried, but he can't ride it yet.
C. He can now ride it really well.
D. He has sold the skateboard!
8. Yoko: Do you want to go to Tokyo Disneyland sometime?
John: Didn't we just go there a couple of months ago?
Yoko: Yes, but they have new attractions!
John: OK, how about sometime in August?

Question 8. What do we know from this conversation?

- A. John and Yoko have never been to Disneyland.
- B. Yoko has been to Disneyland by herself recently.
- C. John has been to Disneyland by himself recently.
- D. John and Yoko have both been to Disneyland recently.

9. John: If you had the money, would you buy a new car?
Yoko: No, I'd go on holiday to Australia!
John: Really? I've never been there. Where would you go?
Yoko: I'd love to go scuba diving on the Great Barrier Reef.

Question 9. What would Yoko like to spend money on?

- A. An ocean holiday in Australia.
- B. A driving holiday in Australia.
- C. Buying a car in Australia.
- D. Buying the Great Barrier Reef in Australia.

10. Yoko: Did you watch Netflix, John?
John: Yes, I'm really into the new fantasy series!
Yoko: It's great, isn't it?
John: I can't wait for this Friday's episode.

Question 10. What is John looking forward to?

- A. He wants to watch a drama show on Netflix.
- B. He wants to watch a comedy show on Netflix.
- C. He wants to watch a fantasy show on Netflix.
- D. He wants to watch a mystery show on Netflix.

令和7年度 鹿児島純心女子短期大学 英語問題
 (生活学科・英語科 一般選抜A日程)

受験番号

得点

解 答 用 紙

I.

例										
C										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	小計
D	C	B	A	B	D	B	D	A	C	

II.

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	小計
D	C	A	A	A	B	C	A	D	C	

III.

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	小計
A	D	B	D	B	A	C	D	B	D	

IV.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

小計

左の文章は、二〇二三年四月一九日の『南日本新聞』「社説」である。よく読んで後の設問に答えなさい。

オンライン上で質問すると、自然な文章で人工知能（AI）が回答する「チャットGPT」など対話型ソフトの利用者が世界的に急増している。

政府は国家公務員の負担軽減などを理由に、中央省庁の文章作成や国会答弁での活用を検討する。だが誤った回答も多く、差別・偏見が含まれることもある。現時点で無条件に信用するのは危険だ。個人情報の漏えいや著作権侵害、使う人の思考力低下など多くの課題が指摘され、海外で規制の動きが広がっているのは当然だろう。

問われているのは急速に発達する新技術との付き合い方である。弊害を踏まえ、社会にどう役立てていくのかを慎重に議論していくべきだ。

文章作成能力の高いチャットGPTは米新興企業「オープンAI」が開発、昨年11月に一般公開した。今年1月には利用者が1日当たり延べ1億人に達し、さらに増え続けているという。

ネット上の膨大なデータを学習して利用者が求める情報を推測し、正しい回答になる確率が高い単語を選んで文章をつくる。資料やメール作成、データ収集などの効率化が見込めるとして企業でも導入へ期待が高まっている。

問題なのは、間違いや性別、人種などへの差別や偏見も取り込み、広がる恐れがあることだ。利用者が個人情報や勤務先の機密情報を入力すれば、情報漏えいにもつながる。

教育への影響も深刻だ。専門家は、作文やレポートで子どもや学生がAIに頼り切ってしまうと、文章を書く能力が低下し、独自性や創造性を養う機会を失う可能性を指摘する。成績の評価にも支障が生じかねない。

国内では東京大学が対話型ソフトのみを利用したりレポート作成を認めないとの見解を示し、上智大はレポートと論文について利用禁止を明確化した。文部科学省は年度内にも活用の注意点などをまとめた指針を作成する。

欧米では、イタリア当局が3月、膨大な個人情報を違法に収集した疑いがあるなどとして一時的に使用を禁止、対策を要求した。米国では人類がAIを制御できなくなることに懸念を強めた専門家や企業経営者が、強力なシステムの開発を少なくとも半年間停止するよう全てのAI研究所に求めた。

大学や国外のこうした危機感とは対照的に、岸田文雄首相がオープンAIの最高経営責任者と面会するなど、日本の姿勢が前のめりに映るのは気掛かりだ。神奈川県横須賀市もきのう、試験導入すると発表するなど政府だけでなく自治体に広がる可能性もある。

AIへの対応は今月末、群馬県である先進7カ国（G7）デジタル・技術相会合でも重要テーマとなる。日本は議長国として活用や規制について幅広い議論を主導し、安心して利用できる環境整備へ役割を果たしてほしい。

【設問】 「チャットGPT」を含む生成AIのメリット、デメリットを踏まえた上で、少子高齢化の進

む地域社会において生成AIをどのように活用できるか、あなたなりの提案を行いなさい。解答は六百字以上八百字以内とする（句読点などの記号や空白も字数に含む）。

左の文章は二〇二四年七月二六日の『南日本新聞』「社説」である。よく読んで、後の設問に答えなさい。

着々と進む日本の人口減少の深刻さが、改めて鮮明になった。

総務省が発表した人口動態調査によると、今年1月1日時点の外国人を含む総人口は1億2488万5175人で、前年を約53万2千人下回った。日本人に限れば1億2156万1801人で、約86万1千人減った。

日本人住民の人口は2009年をピークに5年連続で減少している。研究機関などが公表するデータや予測からも状況が変わる兆しはなく、今さら人口減少に驚く人はいないだろう。

だが、86万1千人減という過去最大の減少幅を見れば、悠長に構えてはいられない。出生者は過去最少の約73万人、死者数は最多の約158万人だった。出生数が死亡数を下回る「自然減」が加速している。深刻な少子化が背景にあるのは明らかだ。

鹿児島県は157万6361人で、1万5338人減った。増減率マイナス0・96は、九州7県で最も大きい。このままでは地域の活力を保ち、今の社会機能の維持も危ぶまれる。少子化のスピードを緩める施策を重ねると同時に、人口減を想定した上での地域の将来像を描く必要がある。

全国の外国人人口は32万9535人増の332万3374人だった。新型コロナウイルス禍の入国制限が緩和されて技能実習生や留学生の訪日が再開し、2年連続で増えた。熊本県が24・18%で全国トップの伸び率だったのは、半導体世界大手の台湾積体電路製造（TSMC）の進出の影響だろう。

外国人は鹿児島県内でも農業や加工業、福祉の現場を中心に欠かせぬ労働力になっている。

政府は27年に育成就業制度を導入し、転職制限を緩和するなど外国人が働きやすい環境づくりを目指す。県内より賃金水準の高い都市部に人材が流れていく可能性は高い。職場での待遇改善はもちろん、暮らしやすい地域づくりに自治体も積極的に取り組まねばならない。能力と意欲のある外国人材の定着は、地域の重要な課題である。

今年4月、有識者でつくる「人口戦略会議」が県内43市町村のうち15市町村が将来的に「消滅の可能性がある」と指摘した。出産中心世代の20～30代女性の推計人口を基にした試算だ。

県内に生まれても、進学や就職を機に東京など大都市圏に移り住んでしまう。県や市町村が企業誘致に努め、子育て支援策に力を入れても、流出スピードに追いつかない。戦略会議は、出生率が低く、人口流入が多い大都市の自治体を「ブラックホール型自治体」と指摘した。吸い込まれ続けた地方が破綻すれば、吸い込むものがなくなった都市部もやがて立ち行かなくなる。

都市と地方の格差という構造的な問題に国全体で取り組み、流れを変える手だてを見いださなければならない。

【設問】

人口減少が社会にもたらすマイナス面を指摘したうえで、特に鹿児島において人口減少、人口流出を緩やかにするための方策はどのようなものが考えられるか、あなたの考えを書きなさい。解答は六百字以上八百字以内とする（句読点などの記号や空白も字数に含む）。

令和7年度 鹿児島純心女子短期大学 入学者選抜問題（社会人選抜第I期）

小論文問題

- (注意) 1 受験番号のみを所定の欄に記入しなさい。
2 600字以上800字以内で書きなさい。題名は不要です。

以下の文章を読んで「身近な事柄に疑問を持つこと」について考えたことを書きなさい。そのうえで、あなたが「学ぶときに大切なこと」について考えたことを書きなさい。

吸血昆虫はシマウマ模様が嫌い？ 黒い牛の病気防止に

黒い牛にシマウマのような模様をつけると、アブやサシバエなどの吸血昆虫が近寄りにくくなることを、愛知県農業総合試験場と京都大のチームが突き止めた。牛の病気の防止や、ストレス軽減につながるという。近いうちに、しま模様の牛が牧場で草をはむようになるかも――。

同試験場畜産研究部養牛研究室の児嶋朋貴主任は、畜産農家を支援する部署にいた時、農家が吸血昆虫に悩んでいることを知った。牛白血病などの病気を媒介するほか、刺された痛みやかゆみで牛がストレスをため、発育が悪くなる影響があるという。シマウマのしま模様が虫に刺されにくくするという論文があることを知り、現部署に異動後、実験を始めた。家族で東山動植物園（名古屋市千種区）に行った際、シマウマの写真を撮って模様を観察したという。

実験では、白いスプレーでシマウマのような模様を付けた牛、黒いスプレーでしま模様を付けた牛、何もしない牛の3頭を用意し、どの牛に虫が付きやすいかを繰り返し調べた。柵につないで30分後、それぞれの牛の右半身の写真を撮り、くっついている虫の数を確認。平均すると、何もしない牛には128匹、黒いしま模様の牛には111匹付いたが、白いしま模様の牛は56匹で、ほかの半分ほどだった。

児嶋さんによると、しま模様によって、虫が牛の皮膚に止まりづらくなっているようだという。「生産性は畜産農家にとって非常に大事なもので、愛知県だけでなく全国で役立つほしい」と話す。今後、アブなどが活動する6～10月の間に、しま模様を付いたままにする手法を考えたいという。

(朝日新聞デジタル 2019年11月5日、一部を省略)

1. 「牛にしま模様を付ける発想」の価値について理解し、自分の意見を述べているか。(30点)
2. 「自分が学ぶとき」への気づきについて、自分の意見を述べているか。(30点)
3. 社会人として最低限の論理的文章力を有しているか。(30点)
4. 問題文以外の具体例を挙げて議論を展開していれば加点する。(10点)
5. 誤字脱字、平易な漢字を平仮名表記している、字が乱雑、書式が不適切(改段落が無い)などの場合は減点する。

①～⑤の基準から60点を標準として加点、減点して評価する。

令和7年度 鹿児島純心女子短期大学 入学者選抜問題（社会人選抜第Ⅱ期）

小論文問題

- (注意) 1 受験番号のみを所定の欄に記入しなさい。
2 600字以上800字以内で書きなさい。題名は不要です。

次の文章を読んで、あなたが、「社会に貢献すること」について考えたことを書きなさい。そのうえで、具体的にどのようなことができると考えたか書きなさい。

「社会に直接的に貢献できる活動に魅力を感じた」のが選択の理由だという。天皇、皇后両陛下の長女愛子さまがこの春、日本赤十字社に就職された。「困難な道を歩む方々に心を寄せること」を皇室の役目とする自身の考えに合っているのだろう。日赤といえば、被災地支援や献血、病院といった事業が思い出される。いずれも人を救うための活動だという共通点がある。きょうは「世界赤十字デー」。赤十字運動を提唱したスイス人実業家アンリ・デュナンの誕生日にちなむ。1859年、イタリア統一戦争の激戦地で死傷者が放置される惨状に直面し、敵味方を問わない負傷者の救護や、そのための団体を各国につくることを訴えた。1863^{注1)}年に赤十字国際組織の元となる「五人委員会」が誕生し、運動は日本へも広がる。西南戦争で負傷者続出に心を痛めた元佐賀藩士の佐野常民が1877^{注2)}（明治10）年、「博愛社」を設立して1400人余を治療した。イスラム圏では赤十字の代わりに赤新月の印を使うが、理念は同じだ。ともに戦争状態にあるウクライナやパレスチナ自治区ガザなど世界中で、医療や食料といった人道支援の活動にあたる。デュナンが崇高な理念を掲げてから160年超。人々は、敵味方に分かれて殺傷し合う愚行をやめられずにいる。それでも、いやだからこそ、分け隔てなく助け続ける活動を絶やしてはなるまい。

（南日本新聞・南風録 2024年5月8日）

注1) 南風録では「63」であるが「1863」と表記した。

注2) 南風録では「77」であるが「1877」と表記した。

- ① 「社会に貢献すること」について、自分の意見を述べているか。(30点)
- ② 「社会に貢献すること」について、具体例を挙げて意見を述べているか。(30点)
- ③ 社会人として最低限の論理的文章力を有しているか。(30点)
- ④ 「社会に貢献すること」について、文中以外の具体的に挙げて議論を展開していれば加点する。(10点)
- ⑤ 誤字脱字、平易な漢字を平仮名表記している、字が乱雑な場合、書式が不適切な場合（改段落が無いなど）は減点する。

①～⑤が出来ていれば60点を標準とする。

令和7年度 鹿児島純心女子短期大学 入学者選抜問題（帰国生徒選抜Ⅰ期・Ⅱ期）

小論文問題

- (注意) 1 受験番号のみを所定の欄に記入しなさい。
2 「題」を書かないで、600字以上800字以内で書きなさい。

日本人の生活習慣、伝統的なしきたりや考え方、日本人の価値観、社会制度等々、どんなことでもよいので、あなたが暮らした国と日本との相違を具体的に述べなさい。また、そのような日本の将来についてあなたはどのように改善していくべきか、展望を述べなさい。

- ・自分の体験に基づいた説得力のある意見を述べているか。
- ・具体例を挙げて議論を展開していれば加点する。
- ・最低限の論理的文章力を有しているか。
- ・誤字脱字、平易な漢字を平仮名表記している、字が乱雑、書式が不適切（改段落が無い）などの場合は減点する。

令和7年度 鹿児島純心女子短期大学
入学者選抜問題（外国人留学生Ⅰ期・Ⅱ期、秋季選抜）

小論文問題

- （注意） 1 受験番号のみを所定の欄に記入しなさい。
2 「題」を書かないで、600字以上800字以内で書きなさい。

日本人の生活習慣、伝統的なしきたりや考え方、日本人の価値観、社会制度等々、どんなことでもよいので、あなたの母国と異なると思うことを具体的に述べなさい。また、そのような日本独特の事柄についてあなたはどのように考え、さらに自分自身の行動としてどのように対処していくつもりか述べなさい。

- ・自分の体験に基づいた意見を述べているか。
- ・具体例を挙げて議論を展開していれば加点する。
- ・最低限の日本語による論理的文章力を有しているか。
- ・日本語能力検定試験 N2 レベル以上、またはそれと同等の日本語能力を有しているか。